

【世界的大手消費財メーカー】

データドリブン経営を実現するデジタルデータ流通基盤に Solace PubSub+のEvent Meshを採用

概要

食品や飲料品はじめ、広く日用品や美容関連商品などを幅広く扱う世界的大手消費財メーカー

顕在化していた課題

DXの一環として整備を進めていた自社の「Digital Business Platform」において、より粒度の高いビジネスイベントを取り込んでタイムリーなサービス提供につなげる方法を模索していました。

Solaceが提供した施策

従来のRequest/Reply型APIをベースにオンプレミスのデータセンターとパブリッククラウドを跨いで展開されていたインテグレーション基盤にEvent Meshを追加することにより、リアルタイムなイベントストリーミング機能にも対応した「ハイブリッドインテグレーションプラットフォーム(HIP)」へと進化させました。

お客様の声

”イベントドリブンアーキテクチャを実現するためのリアルタイムイベントストリーミング基盤として市場に存在する様々なベンダーの製品を評価した結果、自社の目的やデジタルビジネス要件に対して一番フィットするのがSolacePubSub+であるという結論に至りました。”

LEARN MORE

solace.com



タイムリーなビジネスイベントの把握が成功の鍵

世界的に展開する数多くのブランドを保有して生産から流通までを手がける会社では、事業部門や各リージョンでのやりとりに加え、サプライヤー、小売業者、消費者の間でも日々無数のやりとりが行われています。同社は、その「やりとり」で交わされるデータこそが最も重要なデジタル資源であり、それらをエコシステム全体で常時把握することで、ビジネス状況の把握やタイムリーな意思決定や対応が可能となり、それが新たなビジネス機会の発見につながるものとの確信に至りました。

その実現のためには、様々なビジネス領域で稼動する数多くのアプリケーションから供給される多種多様なビジネスイベントに対応する必要がありました。そこではハイパフォーマンスでスケーラブル、更に洗練された高機能性を有するイベント流通網の整備が不可欠でした。

Solaceが採用された理由

この分野で市場をリードする主要製品を評価する中で、Solace PubSub+の特色であるEvent Meshの概念やデータの到達性や順序性への保証、リプレイ(再送)機能、マルチプロトコルの対応性やダイナミックなメッセージルーティング、データ観点でのセキュリティを担保するフィルタリング機能などの多くの機能が、同社のデジタル変革に不可欠であるという判断に至りました。

導入の効果

リアルタイムなマスターデータ配信

「Single Source of Truth (信頼すべき絶対的な情報の源)」として存在するマスターデータ管理(MDM)システムは、データ配信の方法としてポーリング/プル型のみをサポートしており、その結果としてエコシステム全体での同期性の維持が困難な状況に陥っていました。そこにPubSub+のイベントブローカーを導入することにより、マスターデータの更新を「イベント」としてプッシュ型で配下に配信し、その到達性や順序性はEvent Meshの機能で担保される形としました。これにより、パーツのリストや商品の販売価格などのマスターデータはエコシステム内全域で常時最新の状態で保たれるようになりました。

イノベティブなアイデアの源泉

同社全体でのデータドリブン経営の実現という共通の戦略目標のもとで各事業部門や組織を跨いだデジタル資源の共有化が促され、その価値を最大限に発揮する活用方法としてイベントドリブンアーキテクチャを積極的に活用することが全社の共通認識として共有される形となりました。

